

様

## 地震国の日本では原発は危険です 老朽化原発・危険性が高い原発を計画的に停止してください

\_\_\_\_\_に居住する有権者の一人として、お願いがありファックスをお送りいたします。  
二度と放射能汚染を起こさないために、日本政府に以下の点を要請してください。

- ・ 大事故を起こしたマーク I 型の原子炉は、出来る限り早く停止してください。
- ・ 六ヶ所村核燃料再処理施設、事故を起こしている高速増殖炉もんじゅの運用を、出来る限り早く停止してください。
- ・ 原子力に批判的な視点を持つ専門家、技術者を含めて、原子力施設の徹底的な外部調査を行ってください。
- ・ 調査の結果から、危険度の高いもの、老朽化している原発から順次停止をしてください。
- ・ 危険度の高い原子力施設を廃止するために、国会の場で働きかけてください。関連する省庁や政務三役へ働きかけてください。

設計寿命「40年」が60年に無理に延長

日本では、耐用年数が40年で設計されてきた原子力発電施設は、国民的な議論のないまま、次々に60年に使用年数が延長されています。70年代に造られた原発の耐用年数が近づいてくると、国と東電は60年まで使えるという見解を打ち出しました。

「耐用年数は40年も、あくまで設計上の話で、配管などが経年劣化でボロボロになってくるから、実際に40年も持つのか分かりません。ところが、70年代に造られた原発の耐用年数が近づいてくると、国と東電は60年まで使えるという見解を打ち出しました。原発の経年劣化が明らかなのに、運用基準を延ばすなんて、技術者からすれば信じられない話です」(元設計技師)

福島第1原発の事故を起こした原子炉、古いマーク I 型は、ほかにも女川原発、浜岡原発、島根原発、日本原子力発電の敦賀原発で使われています。浜岡の1号機と2号機は'09年に運転を停止していますが、敦賀1号機は'70年、島根1号機は'74年の運転開始なので、もう設計寿命の40年となります。老朽化原発・危険性が高い原発を計画的に停止してください。

私たちの代表として、政府に対し声を上げてください。

住所（連絡先）\_\_\_\_\_

名前 \_\_\_\_\_